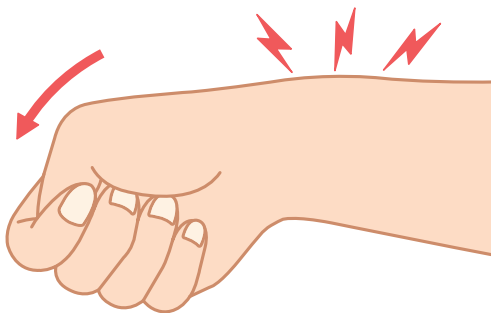


ドケルバン病
手首の親指側に痛みが出る



「痛みが改善しない場合には、腱鞘を広げて、腱の通りをよくする手術を行います。ドケルバン病は、早期に適切な治療をすれば症状が改善することが多い病気です。悪化する前に早めの受診を心がけましょう」

女性ホルモンのバランスが変動する時期に起こりやすい腱鞘炎「ドケルバン病」について、「たいら手の外科・整形外科」の平良貴志先生に聞きました。

「ドケルバン病は、親指を伸ばす腱がむくみ、腱鞘というトンネルの中をうまく通過しなくなることで手首の親指側に痛みが出る病気です。親指を伸ばそうとすると痛やすくなります。また40代後半から60代の更年期に、家事やパソコン作業などで手を酷使することも原因となります」

「痛みが改善しない場合には、腱鞘を広げて、腱の通りをよくする手術を行います。ドケルバン病は、早期に適切な治療をすれば症状が改善することが多い病気です。悪化する前に早めの受診を心がけましょう」

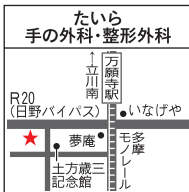
「治療法は？」

「痛みによって、漢方薬や消炎鎮痛薬を処方します。手首と親指の負担を減らすためにサポーターを使用することもあります。むくみや痛みが強い場合には腱鞘の中にステロイド注射を行います。エコー（超音波）装置を用いることで正確な場所への注射が可能となります。これらの治療で症状が改善しない場合には、腱鞘を広げて、腱の通りをよくする手術を行います。ドケルバン病は、早期に適切な治療をすれば症状が改善することが多い病気です。悪化する前に早めの受診を心がけましょう」

院長:平良貴志
日本整形外科学会認定
整形外科専門医

☎042-587-5530

日野市石田2-9-17
多摩モノレール「万願寺」駅
下車徒歩3分



休診日:金・日曜、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	/	●	/
14:00~17:30	●	●	●	●	/	●	/